

会津農林かわら版

第43号

令和6年

11月

第65回福島県農業賞を受賞

令和6年9月2日、福島市の杉妻会館において第65回福島県農業賞の表彰式が行われました。農業経営改善部門では喜多方市の山口潔氏、集団活動部門・農村青年活動の部では会津坂下町の両沼農村青年クラブが受賞されました。今回の受賞を受け、受賞者の皆様には今後も会津地域の農業を牽引するリーダーとして、さらなる経営の発展をご期待いたします。

【喜多方農業普及所・会津坂下農業普及所】

【農業経営改善部門】山口 潔 氏

山口氏は「ゆうきの会」の会長として有機農業の普及に尽力され、「まごころ野菜の会」の会長としては地域農産物を学校給食に提供する取り組みを進めてきました。また、「小学校農業科」の支援員として、次世代を担う子供たちへの食・農教育に力を入れています。これらの活動が、喜多方市のオーガニックビレッジ宣言や地域の取り組みに大きく貢献しています。

【集団活動部門・農村青年活動の部】両沼農村青年クラブ

両沼農村青年クラブは、若手農業者で組織され、会員の資質向上や経営感覚を養うため、様々なプロジェクト活動の実施や各種研修会に積極的に参加しています。また、他地域の農村青年クラブとの交流も盛んに行っています。今年度は、IoT機器「通い農業支援システム」を独自に開発・実践し、地域の新規就農者や青年農業者の技術・経営の向上を支援しています。これらの活動は、地域の農業発展に貢献し、他地域とのつながりを深める貴重な場となっています。



目次

- P1 第65回福島県農業賞を受賞
- P2 「ふくしまの農村学びの場」事業で次世代を担う若者が土地改良施設を見学しました
会津身不知（みしらず）柿が海外に向けて発送されました
- P3 あいづ”まるごと”ネット販売実践スキルアップ研修会を開催しました
堰場地区のほ場整備工事が完了しました！
- P4 第2回緑の教室を開催しました
林業現場見学会を開催しました
- P5 奥会津物産フェアを開催しました
会津平坦部の生産者を対象に宿根カスミソウ品種比較現地検討会を開催しました
- P6 令和6年度会津・南会津地方特定家畜伝染病防疫演習を実施しました
第3回「おいしい、ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました
- P7 令和6年度福島県林業コンクール等表彰式について

- P8 ふくしま県GAP認証書交付式を開催しました
会津物産フェア&第4回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました
- P9 令和6年度新規就農者等研修会（第1回）を開催しました
第16回ふれあいきたかた農業まつりで木育ワークショップを開催しました
- P10 JA会津よつば昭和かすみ草部会が農林水産祭天皇杯を受賞
高野地区の工事が優良工事に選定されました
- P11 会津若松市門田町御山地区における鳥獣被害防止対策の成果と課題
非破壊検査による野生まつたけの出荷販売について

会津農林事務所からのお知らせ

- P12 GAP研修会を実施します！
あいづ”まるごと”ネットSNSキャンペーン2024開催中
- P13 会津の棚田応援キャンペーンを開催します！
福島県農林水産部公式YouTubeチャンネル「1400のネタばらし」配信中
会津農林事務所SNS あいづ”まるごと”ネットSNS更新中
- P14 いまさら聞けないスマート農業「RTK」って何？

写真：喜多方市 新宮熊野神社「長床」の大イチヨウ

「ふくしまの農村学びの場」事業で 次世代を担う若者が土地改良施設を見学しました

かんがい排水事業（一般型）



農業用河川工作物応急対策事業



令和6年10月17日、会津農林高等学校1年生25名を対象に、会津若松市内の水路トンネルや頭首工改修現場、新宮川ダムを巡る見学会を実施しました。「ふくしまの農村学びの場」事業は、土地改良施設が担う農業生産、国土保全、自然環境保護などの多岐にわたる役割を伝え、地域への理解を深めることを目的としています。

見学会では、高校生に分かりやすい資料を作成し、工事内容の説明にも工夫を凝らしました。

水路トンネルの現場では、重機作業の危険回避訓練としてVR動画の体験を行い、頭首工では、護床ブロック製作作業を間近で見学しました。さらに、両現場では20代の若い現場代理人が、自らの経験や想いを交え、農業土木の仕事のやりがいや魅力について話しました。生徒たちは、その代理人が母校の先輩だったこともあり、熱心に耳を傾けていました。新宮川ダムでは、通常立ち入ることができない堤体内通路や操作室を見学し、ダム管理の重要性について学びました。

今回の見学会は、水路トンネル、頭首工、ダムという異なる水利施設の造成工事等を通じて農業土木の魅力を伝え、農業用水の供給と管理の重要性を実感してもらう貴重な機会となりました。

【農村整備部】



▲「新宮川ダム」農業用ダム管理

会津身不知（みしらず）柿が海外に向けて発送されました

令和6年11月6日、会津美里町のJA会津よつば永井野選果場において、会津みしらず柿販路拡大促進協議会主催の会津みしらず柿海外輸出発送式が開催されました。

会津みしらず柿は、毎年皇室に献上される献上柿としてその名を広く知られています。今年はタイとシンガポールへの輸出が実現し、海外市場での販路拡大により、その評価は年々高まっています。

発送式では、星所長が「今年は例年以上に良質で大玉の柿が揃いました。丹精込めて育てられた会津みしらず柿のブランド価値がさらに高まることを期待します」と、祝辞を述べました。

海外輸出を通じて、会津みしらず柿のさらなるブランド価値の向上と産地の活性化が期待されます。

【農業振興普及部】



▲箱詰めされた会津みしらず柿



▲発送式の様子

“あいつ”“まるごと”ネット販売実践スキルアップ研修会を開催しました

6次化事業者が販売スキルやノウハウを学ぶため、“あいつ”“まるごと”ネット販売実践スキルアップ研修会が、計4回にわたり開催されました。本研修会は、“あいつ”“まるごと”ネット（事務局：会津農林事務所、南会津農林事務所）が主催し、ふくしま6次化創業塾修了生やふくしま農山漁村発イノベーションサポートセンターの支援を受けた事業者を対象に実施されたものです。今回は5事業者が参加しました。

研修会では、販売実践マーケターのAIZU-YA-JAPAN 池添寛子氏と吉川弘之氏が講師を務め、各回ごとに異なるテーマで実践的な学びを提供しました。 【企画部】

○第1回：自社の強みと課題を共有

初回は令和6年8月20日に開催され、参加事業者がそれぞれの事業の強みや課題を発表し、意見交換を行いました。事業者間での交流を通じて、自社の現状を見つめ直すきっかけとなりました。

○第2回：販売ノウハウの学び

第2回は令和6年9月30日に実施しました。講師から、商品の効果的な陳列方法や県外で販売する際の注意点など、販売活動に役立つ具体的なノウハウが共有されました。

○第3回：現地販売実習

令和6年11月2日・3日の2日間にわたる第3回は、道の駅国見あつかしの郷での現地販売研修（P8の記事参照）を実施しました。参加事業者が自社商品を実際に販売し、リアルな販売体験を通じて学びを深めました。

○第4回：販売結果の振り返りと改善策

最終回は令和6年11月18日に開催し、第3回の販売結果についてフィードバックを行いました。講師からは、商品陳列や接客のポイント、さらなる改善点についてアドバイスがあり、事業者にとって今後の活動に活かせる貴重な機会となりました。



▲AIZU-YA-JAPAN池添氏、吉川氏



▲研修会の様子

堰場地区のほ場整備工事が完了しました！



▲堰場地区上空写真

平成29年度に事業採択された「経営体育成基盤整備事業 堰場地区」（会津若松市湊町大字平潟地内）のほ場整備工事が、令和6年8月に無事完了しました。

本事業では、受益面積24.6haにわたる農地の区画整理をはじめ、農業用道路や用排水路の整備を実施しました。これにより、農地の大区画化が進み、大型農業機械の導入が可能となりました。また、これらの整備により、効率的な作業環境が整い、作業負担の軽減や生産性の向上が期待されています。

整備が完了した堰場地区では、担い手農家を中心となり、効率性と収益性の高い農業経営が展開される見込みです。

今回の大区画化のメリットを最大限に活かし、地域農業の活性化に貢献することが期待されています。

【農村整備部】



◀大豆の収穫の様子

第2回緑の教室を開催しました

令和6年8月21日、第2回 緑の教室を金山町で開催しました。今回の研修は、近年頻発する獣害の予防対策として有効な「森林緩衝帯」の整備推進を目的としています。

まず、室内での講義では、担当の林業普及指導員が里山林整備事業の実績や施工事例、実施時の留意点について説明しました。続いて、ご協力いただいた株式会社ヤマイン様より、事業実施のポイントやクマなどの生態に関する興味深いお話をいただきました。

その後、実際に施工された現地を視察し、各地で進められているクマによる人身被害対策について、情報共有や意見交換を行いました。参加者からは「クマの冬眠前における食事量の増加や活動の活発化、堅果類の豊凶の影響、さらにカシノナガキクイムシ被害の状況など大変参考になった。今後、自分たちの地域でも様々な対策に取り組んでいきたい。」との感想が寄せられました。 【森林林業部】



▲林業普及指導員の講義



▲現地研修の様子

林業現場見学会を開催しました

林業分野での新規就業者の確保や林業への理解促進を目的として、会津農林高等学校の生徒を対象に林業現場見学会を開催しました。9月24日には環境科学科2年生を対象に、森林整備作業の現場や製材施設、林業研修施設（林業アカデミーふくしま）の見学を行いました。また、10月11日には耶麻校舎の生産技術科・ライフコーディネイト科3年生を対象に、和紙作り体験やしいたけの生産施設での見学・収穫体験を行いました。

この見学会を通して、木の伐採から加工までの工程や最新の林業技術に触れるとともに、林業や林産物の活用についての理解も深めていただけたことと思います。参加した生徒の中には、林業アカデミーふくしまへの入校に関心を持った方もおり、今後もこのような見学会を通じて、将来の林業分野での就業につながる支援を続けてまいります。 【森林林業部】



▲森林整備作業見学



▲林業機械シミュレーター体験



▲和紙作り体験

奥会津物産フェアを開催しました

令和6年10月12日から14日にかけて、イオンいわき店にて奥会津地域の農林水産物や6次化商品の販売促進イベントとして奥会津物産フェアを開催しました。

イベントでは、7事業者が出展し、奥会津ならではの農林水産物や6次化商品が店頭に並び、多くのお客様で賑わいました。

会場では、地理的表示（GI）保護制度に登録された昭和かすみ草を配布してPRを行ったほか、会津・南会津地域の農林水産物や6次化商品を紹介するチラシを配布し、奥会津地域の魅力を幅広く発信しました。今後も奥会津地域の農林水産物と6次化商品の魅力を広く伝えるなど、消費拡大に努めてまいります。

【企画部】



▲フェアでの様子



▲一定額以上購入された方へ昭和かすみ草をプレゼントしました

会津平坦部の生産者を対象に 宿根カスミソウ品種比較現地検討会を開催しました

令和6年10月23日、会津坂下農業普及所主催のもと、会津坂下町にて宿根カスミソウ品種比較現地検討会を開催しました。近年、会津平坦部における宿根カスミソウ栽培では、気候変動による高温の影響が懸念されています。特に、早期短茎開花などの問題が発生し、生産者は高温期に適した品種選定に苦慮している状況です。

そこで、会津坂下町の生産者の協力のもと、4社16品種の宿根カスミソウを同一環境・同一管理下で栽培し、品種比較展示を実施しました。この取組は、会津平坦部の生産者が自分の経営に適した品種を見極める一助となることを目的としています。



▲検討会の様子

当日は、約50名の生産者が参加し、各品種の開花時期、草丈、立茎数などの違いを実際に観察し、自らの経営に最適な品種を選定するため、熱心に議論を交わしていました。

今後も、産地の課題解決に向けた取組を継続し、地域の農業の発展に貢献してまいります。

【会津坂下農業普及所】

令和6年度会津・南会津地方特定家畜伝染病防疫演習を実施しました



▲消毒ポイント作業



▲現場作業班の演習の様子

令和6年10月25日、会津若松市河東農村環境改善センターにおいて、令和6年度会津・南会津地方特定家畜伝染病防疫演習を実施しました。

この演習は、高病原性鳥インフルエンザが発生した際の初動対応や防疫措置を体験・確認することを目的とし、毎年開催しています。

当日は、会津農林事務所および南会津農林事務所の管内から、関係機関・団体の計89名が参加しました。参加者は、以下の3つの班に分かれ、それぞれの役割と作業内容を確認しました。

- 集合センター班：防疫作業員の受け入れを担当
- 現場作業班：防疫措置を実施
- 消毒ポイント班：畜産関係車両の消毒を担当

演習を通じて、参加者は防疫措置の実践的な手順を学び、緊急時における連携の重要性を再確認することができました。

【農業振興普及部】

第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました

令和6年10月26日、会津美里ワインフェス2024会場内（会津美里町のふれあいの森公園）で、第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。

当日は、県産の農林水産物に関するアンケートにお答えいただいた先着130名の方に、「昭和のお煎餅」をプレゼントしました。また、地理的表示（GI）保護制度に登録された昭和かすみ草や会津地方の農林水産物・特産品、会津の棚田に関するチラシやパンフレットも配布し、会津の魅力や当所の取組を広くPRしました。

アンケートの結果、県オリジナル品種のいちご「ゆうやけベリー」と県オリジナル品種の米「福、笑い」の知名度は、それぞれ66%、82%に達していることがわかりました。今後もより多くの方に県産農林水産物の魅力を伝える等、消費拡大に向けた取り組みを続けてまいります。

【企画部】



▲「昭和のお煎餅」をプレゼントしました



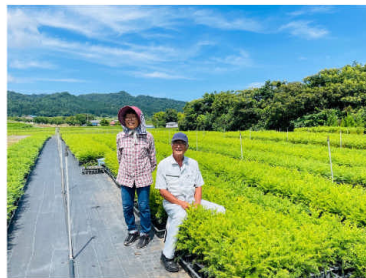
▲大人気のキビタン

令和6年度福島県林業コンクール等表彰式について

福島県では毎年、福島県林業祭の開催に合わせて5つの表彰を合同で行う福島県林業コンクール等表彰式を実施しております。今年度も会津農林事務所管内の応募者が多数入選し、令和6年10月26日に郡山市安積町の県林業研究センターにおいて表彰されました。

令和6年度福島県林業コンクール

山林苗畑部門 福島県知事賞 会津美里町 長嶺忠和氏



▲山林苗畑部門知事賞
長嶺氏

第75回福島県学校関係緑化コンクール

学校林等活動の部 福島県知事賞・福島民報社社長賞 会津若松市立川南小学校
教育長賞 会津若松市立湊学園

学校環境緑化の部 福島県知事賞・福島民友新聞社社長賞 会津若松市立川南小学校
教育長賞 会津若松市立大戸小学校

関東森林管理局長賞 喜多方市立第一小学校

令和6年度福島県きのこ品評会

生しいたけの部（菌床栽培部門）

全国農業協同組合連合会福島県本部長賞 西会津しいたけファーム
中村寛基氏

福島県きのこ振興協議会長賞 西会津町 農事組合法人会津きのこ工房
代表理事 野原勇一氏



▲乾しいたけの部
知事賞受賞

乾しいたけの部

福島県知事賞 磐梯町 鈴木吉一氏

全国椎茸商業協同組合連合会理事長賞 西会津しいたけファーム 土田杏子氏

福島県林業コンクールでは、山林苗畑部門において、苗木の系統管理や創意工夫など、経験に基づく優れた技術が評価されました。

学校関係緑化コンクールでは、昨年度に続いて両部門で当管内の小学校在知事賞を受賞し、地域貢献につながる緑化活動や学校林活動が高く評価されました。

福島県きのこ品評会では、2部門で4名の生産者が入賞し、品質の評価を通じて管内生産者の高い生産技術が証明されました。

森林林業部では、今後も林業関係者等と連携し、一体的な普及指導により技術の発展に努めて参ります。

【森林林業部】

ふくしま県GAP認証書交付式を行いました



▲左から星所長、安部氏、横山氏、佐藤氏（木幡天水会）
吉田氏（有限会社あいづ松川）

令和6年10月31日、会津若松合同庁舎において、ふくしま県GAPの令和6年度第2回認証書交付式が行われました。星所長より、4つの経営体に認証書が交付されました。

今回認証を受けられた有限会社あいづ松川、安部氏、横山氏、そして木幡天水会の皆様は、長年にわたり土づくりに力を入れ、環境に優しい農業を実践しながら、高品質な米づくりに取り組んでこられました。

この認証を受けたことにより、県オリジナル品種「福、笑い」の生産にも挑戦されることが期待されます。

【農業振興普及部】

会津物産フェア&第4回「おいしい ふくしま いただきます！」 キャンペーンを開催しました

令和6年11月2日・3日、道の駅国見あつかしの郷において会津物産フェアおよび第4回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。

会津物産フェアは、会津地域の農林水産物・6次化商品の販売会を実施するとともに、食や自然、風景などの地域資源をPRすることで、6次化商品の販路拡大と観光誘客につなげることを目的として開催したもので、あいづ"まるごと"ネット販売実践スキルアップ研修会（P3の記事参照）の参加者、5事業者が出店しました。

また、キャンペーンでは、県産農林水産物に関するアンケートにご協力いただいた各日先着200名様に、特産品会津身不知（みしらず）柿をプレゼントしました。

さらに、会場では会津身不知柿をはじめとする会津地方の農林水産物・特産品、会津の棚田に関するチラシやパンフレットも配布し、会津の魅力や当所の取組を広くPRしました。

当日は、普段目にする機会が少ない会津の農産物や6次化商品を求める多くのお客様で賑わい、盛況のうちにイベントを終えることができました。

今後も県産農林水産物の消費拡大と魅力発信に努めてまいります。

【企画部】



▲会津物産フェアの様子



▲キャンペーンの様子

令和6年度新規就農者等研修会（第1回）を開催しました

令和6年11月7日、道の駅あいづ湯川・会津坂下において、新規就農者や就農希望者を対象に、栽培技術の向上と専門知識の習得を目的とした令和6年度新規就農者等研修会（第1回）を開催しました。

第1回のテーマは「GAP（農業生産工程管理）」をテーマとし、始めに職員からGAPの概要について説明しました。また、GAP認証を取得した実際の事例として、はねだ桃園（桑折町）の羽根田幸将氏と、会津永島オーガニックファーム（会津若松市）の永島幸俊氏をお迎えし、GAP取得の経緯や、その取得による農業経営の変化についてお話いただきました。

参加した新規就農者や就農準備中の研修生らは熱心に聴講し、GAPに対する知識、理解を深めていました。 【会津坂下農業普及所】

今後の開催予定

第3回

「病害虫防除のポイント」

- ・ 期日 令和6年12月3日（火）
- ・ 場所 道の駅あいづ会議室

第4回

「有機農業・土づくり」

- ・ 期日 令和6年12月18日（水）
- ・ 場所 道の駅あいづ会議室



▲研修会の様子

第16回ふれあいきたかた農業まつりで 木育ワークショップを開催しました



▲パネル、装飾品の展示スペース

令和6年11月9日と10日の2日間、第16回ふれあいきたかた農業まつりにおいて、木育ワークショップを開催しました。本ワークショップは、子どもたちが木や森林に親しみを持つきっかけを提供するとともに、森林や林業への理解を深め、将来の就業促進を図ることを目的としています。

2日間で約180名の方々にご来場いただきました。特に人気を集めたのがクリスマスリース装飾体験で、79組もの参加があり、多くのご家族に楽しんでいただきました。体験を通じて子どもたち

だけでなく、保護者の皆さまにも森林や林業の役割、さらには森林資源の活用方法についてご理解いただく機会となりました。

今後も、木や森林と触れ合える木育ワークショップを継続的に開催していく予定です。ぜひ次回もお気軽にご参加ください！ 【森林林業部】

ワークショップの内容

- ・ 会津産木材を使用した木のおもちゃ体験
- ・ クリスマスリース装飾体験
- ・ 林業用作業着の着用体験
- ・ 森林・林業に関するパネルや装備品の展示

▶クリスマスリースの完成品



◀林業用作業着の着用体験

JA会津よつば昭和かすみ草部会が農林水産祭天皇杯を受賞



▲天皇杯受賞おめでとうございます！

第63回農林水産祭において「JA会津よつば昭和かすみ草部会」(以下、部会)が園芸部門で天皇杯を受賞しました。令和6年11月23日、東京・明治神宮会館で開催された式典において表彰を受けました。天皇杯は、過去1年間(令和5年7月から令和6年6月まで)の農林水産祭参加表彰行事(277件)において、農林水産大臣賞を受賞した463点の中から選定された最高位の賞です。

部会は、今年3月に第53回日本農業賞集団組織の部で大賞を受賞しており、「産地一体となった新規就農者の確保により『百年産地』を目指す」活動が高く評価されました。

受賞を受けて、11月26日に当部会の三役が当所を訪問されました。立川幸一部会長は、受賞の喜びとともに、「この受賞を契機に、先人から引き継がれた『昭和かすみ草』への情熱と想いに対する妥協なき姿勢を礎とし、百年先もかすみ草をつくり続ける産地であるため、新規就農者の確保・育成と飽きさせない魅力ある『昭和かすみ草』の探求を続けます。」と熱い決意を述べられました。今後、福島県知事への受賞報告や天皇陛下への拝謁などが予定されています。

今年度の「昭和かすみ草」の販売額は過去最高の7億円を達成しました。当所としても、引き続き産地の発展のために尽力して参ります。

【会津坂下農業普及所】



▲表敬訪問の様子

高野地区の工事が優良工事に選定されました

令和6年度福島県優良建設工事表彰において、農地中間管理機構関連農地整備事業の高野地区の工事がほ場整備部門の優良工事に選定され、施工者の堀井建設株式会社が表彰を受けました。

受賞対象となった工事では、集落に隣接する約12.7haのほ場整備を実施しました。マシンコントロール付きブルドーザーを活用することで、工事期間の短縮と作業の精度向上を実現しました。また、水路敷設においては、上下流区間の水路の高さに各種の制約がある中、さらに文化財保護のための盛土工事を行いながら施工するという難易度の高い工事を、着実に実施しました。

さらに、環境への配慮として、工事範囲内で生息していた在来種の移動を実施したほか、通学路の草刈りや清掃作業も行い地域貢献に努めました。加えて、学生向けに現地見学会や建設機械の試乗会を実施し、建設業の社会的重要性への理解を深める活動を行ったことなどが評価され、今回の受賞となりました。

【農村整備部】



▲ほ場整備部門 高野地区

会津若松市門田町御山地区における鳥獣被害防止対策の成果と課題

第42号では、除草作業を通じて電気柵の管理を強化し、必要な電圧(4kV以上)の維持に努めたことをご報告しました。その結果、電気柵の効果が一定程度発揮されましたが、一部の園地や水田でイノシシによる掘り起こし被害が継続しており、地域住民から「どのように対処すればよいか」との相談が寄せられていました。

○センサーカメラでの調査と新たな発見

現地調査のためにセンサーカメラを設置したところ、イノシシやツキノグマが電気柵に慣れ、警戒することなく出入りしている様子が捉えられました。この状況を打破するため、電気柵に新たな工夫を加える必要がありました。

○太くて目立つリボンワイヤーと侵入防止対策

電気柵を再び警戒させることを目指し、これまで使用していた細い柵線に代わり、太くて視認性の高い「リボンワイヤー」を設置しました。これにより、イノシシが鼻などで柵線に触れる機会を増やし、電気柵を危険と感じさせる狙いです。

さらに、住民の協力を得て侵入経路を特定し、その要所に部分的なワイヤーメッシュ柵を導入することで物理的な侵入防止策も強化しました。

これらの対策の結果、リボンワイヤーに警戒するイノシシの行動が確認され、掘り起こし被害が減少するという成果が得られました。今回の取組から、電気柵に慣れた野生動物への対策には、単一の方法に依存するのではなく、多様な手法を状況に応じて組み合わせる重要性が改めて認識されました。

次号では、11月に開催した「集落ぐるみ対策強化研修会」の様子をご紹介します。地域全体で取り組む防止策のさらなる強化についてお伝えする予定です。

【農業振興普及部】



▲リボンワイヤーを設置したところ



▲ワイヤーメッシュ柵を敷設したところ

非破壊検査による野生まつたけの出荷販売について

福島県では、市町村ごとに出荷制限が指示されている野生キノコのうち、「マツタケ」「ナメコ」「ナラタケ」「ムキタケ」については、所定の検査・出荷管理体制に基づき非破壊検査を実施し、基準値以下であることが確認されたもののみ出荷・販売が可能となっています。

今年度も関係者の皆様と協力し、喜多方市産のマツタケ3.6kg(39本)を非破壊検査を通じて出荷・販売することができました。また、出荷者から懸念されていた非破壊検査に伴う時間の影響による鮮度や品質の低下についても、特に問題は生じなかったと報告をいただいています。

森林林業部では、今後も関係者と連携し、次シーズンも品質の高いマツタケの出荷を実現するための取り組みを進めてまいります。また、ナメコ、ナラタケ、ムキタケについても非破壊検査での出荷が可能ですので、関心のある方はぜひご相談ください。

【森林林業部】



▲持ち込まれたマツタケ



▲販売単位ごとに袋詰め



▲検査済シールが貼付された合格品

会津農林事務所からのお知らせ

GAP研修会を開催します!

令和6年12月12日(木)に、GAP研修会を開催しますのでGAPにチャレンジしたい皆様の参加をお待ちしております。参加申込の締め切りは12月9日です。

開催日時: 令和6年12月12日(木) 13:30~15:30
場所: 会津若松市コミュニティ施設「ピカリンホール」
内容: ①初めての審査編 ②ステップアップ編(リスク管理)
参加費: 無料
申込: 農業振興普及部(0242-29-5307)

【農業振興普及部】

みなさんのGAPチャレンジを応援します!

GAP研修会 ~初めての審査&ステップアップ編~

GAP認証で必ず行われる審査ですが、どんなことをするのか分からないと不安になりますよね。今回の研修会で、審査の方法や準備すべきことを知って、初めての不安を解消しましょう。また、GAPの取組項目にある「リスク管理」とは、様々なリスクを想定し、方々に備える重要な取組です。研修会で一緒に考えてみましょう。

- 1 日時 令和6年12月12日(木) 13:30~15:30
- 2 場所 会津若松市役所コミュニティ施設「ピカリンホール」(住所:会津若松市北会津町中荒井字諏訪前11)
- 3 内容

内容

- 初めての審査編【講義】
 ●審査とはどのようなGAPをするのかを学んで、これからのGAPの取組みに役立てます。
- ステップアップ編【グループ演習】
 ●リスク管理の実践
 生産工程からリスクの洗い出しを行い、防止対策まで実際に考えてみましょう。
 ●外部委託先の詳細、災害への備えについて学習します。

- 4 参加申込 別紙申込書により12月9日(月)までお申し込み下さい。参加費は無料です。定員40名となり次第締切ります。

【主催及び問合せ先】
 福島県会津農林事務所農業振興普及部経営支援課 TEL. 0242-29-5307

あいづ”まるごと”ネットSNSキャンペーン2024開催中

あいづ”まるごと”ネットX(旧Twitter)では、令和6年11月18日よりあいづ”まるごと”ネットSNSキャンペーン2024を開催中です。

下記応募方法に従い、あいづ”まるごと”ネットXをフォロー&対象動画をリポストした方の中から抽選で合計30名様に2,500円相当の6次化商品をプレゼントします!

11月18日に投稿した第1弾第1回目は、会津松原農園の「みしらず柿のはんなりチップ」をご紹介しています。第1弾第2回目は、かおりちゃん野菜の「かぐら南蛮味噌」を紹介しています。12月2日に投稿予定です。ぜひご応募ください!

【企画部】

- 期間 第1弾: 令和6年11月18日(月)~12月13日(金)
- 第2弾: 令和7年1月7日(火)~1月31日(金)
- 第3弾: 令和7年2月3日(月)~2月28日(金)

○主催 あいづ”まるごと”ネット

○応募方法

- ①あいづ”まるごと”ネットX(旧Twitter)アカウント(@aizumarugotonet)をフォローしてください。
 - ②あいづ”まるごと”ネットX(旧Twitter)に、それぞれのキャンペーン期間内で2回、6次化事業者等を紹介する動画を投稿します。
 - ③2回の投稿に対し、2回ともリポストすれば応募完了です。
- ※「#あいづまるごとキャンペーン2024」が付いている投稿が対象です。

あいづ”まるごと”ネット SNSキャンペーン 2024

あいづ”まるごと”ネットX(旧Twitter)をフォロー&対象動画をリポストした方の中から抽選で合計30名様に2,500円相当の6次化商品をプレゼントします!

弾	開催期間
第1弾	令和6年 11月18日(月)~12月13日(金)
第2弾	令和7年 1月7日(火)~1月31日(金)
第3弾	令和7年 2月3日(月)~2月28日(金)

①あいづ”まるごと”ネットX(旧Twitter)アカウント(@aizumarugotonet)をフォローしてください。

②それぞれのキャンペーン期間内で2回、6次化事業者等を紹介する動画をXに投稿します。2回の投稿に対し、2回ともリポストすれば応募完了です。※#あいづまるごとキャンペーン2024が付いている投稿が対象です。

当選者発表
 当選者はダイレクトメッセージでご連絡します。ダイレクトメッセージに記載の宛先に返信いただけない場合、当選を無効とさせていただきます。当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

注意事項
 ・公開アカウントでの投稿のみ有効とします。
 ・商品の発送は日本国内のみとします。
 ・当選者かいたいただいた個人情報は、本キャンペーンの賞品発送のみ使用します。
 ・本キャンペーンによるいかなるトラブル(損害)も、関係の損害賠償責任が発生したとしても事務局で一切の責任を負いません。

【事務局】あいづ”まるごと”ネット(福島県会津農林事務所企画課地域農村企画課)
 電話 0242-29-5369
 Mail aizu-marugotonet@pref.fukushima.lg.jp

▶あいづ”まるごと”ネットX



会津の棚田応援キャンペーンを開催します！

会津農林事務所Xにおいて、令和6年12月9日から令和7年1月24日まで会津の棚田応援キャンペーンを開催します。

下記応募方法に従い、会津農林事務所Xをフォロー＆棚田に関するクイズの答えをリポストし、正解した方から抽選で合計10名様に棚田米8kgをプレゼントします！クイズは全部で6問出題し、正解が多いほど当選確率が上がります。

皆様のご応募お待ちしております！

【企画部】

○期間 令和6年12月9日(月)～令和7年1月24日(金)

○主催 会津農林事務所企画部

○応募方法

- ①会津農林事務所X(旧Twitter)アカウント(@aizu_nourin)をフォローしてください。
- ②会津農林事務所X(旧Twitter)に、棚田に関するクイズを合計6問投稿します。
- ③クイズの投稿に対し、クイズの答えをリポストすれば応募完了です。(※1問から応募可能)



詳細は、下記HPをご覧ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36240a/aizu-tanada.html>



会津農林事務所企画部からのお知らせです



詳しくは会津農林事務所X(旧ツイッター)をチェック！



会津農林事務所企画部地域農林企画課 電話0242-29-5369

◀ふくだん様

福島県農林水産部 公式YouTubeチャンネル 「1400のネタばらし」配信中



最新動画



◀「会津は馬刺しがおいしいんだよ。知ってた？(後編)」【企画部】



◀「福島ユナイテッドFC農業部アスパラガス課」【企画部】

会津農林事務所SNS あいづ”まるごと”ネットSNS 更新中

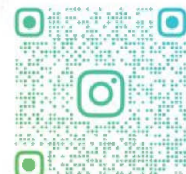
会津農林事務所では、InstagramとX(旧Twitter)において6次化商品の紹介、事務所の取組、イベントのお知らせなどを発信しています。ぜひご覧ください！



X(旧Twitter)



▲このアイコンが目印！



Instagram



X(旧Twitter)



AIZUMARUGOTONET

Instagram

特集

いまさら聞けないスマート農業

「RTK」って何？

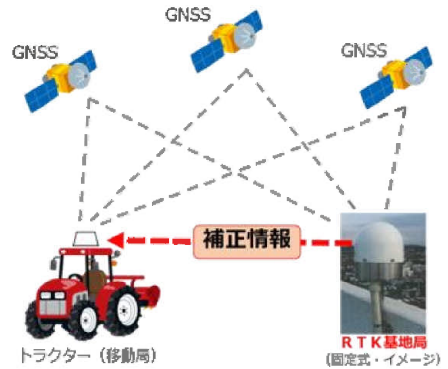


皆さんは、日々の運転でカーナビを利用していますか？目的地までの道案内をしてくれるこの便利な技術。その核となるのが、自分の現在地や目的地の位置を正確に把握する「GPS（全地球測位システム）」です。実は、この技術が農業にも広がりを見せていることをご存じでしょうか？

農業分野では、GPSを活用した「自動運転サポート」や「データ管理による精密農業」など、さまざまな革新が進んでいます。例えば、トラクターの運転を支援するシステムや、ほ場（田畑の区画）ごとの地力や収量の差を分析して栽培管理に役立てる技術などです。しかし、従来のGPSには数メートルの誤差があるという課題がありました。この誤差を克服するために登場したのが、RTK（リアルタイム・キネマティック）という技術です。

RTK技術とは？

RTK技術の基本原理は、基準点となる基地局を設置することでGPSの誤差をリアルタイムで補正する仕組みです。この基地局は自らの位置を高精度で把握しており、そこから得られる補正情報をトラクターなどの移動体に送信します。これにより、GPSの誤差が数センチレベルに抑えられ、これまで難しかった精密な作業が可能になります。



RTK技術がもたらす農業の進化

RTK技術の導入により、農業には次のようなメリットがもたらされています。

○効率的な作業の実現

高精度の位置情報に基づき、植え付けの条間（列の間隔）を最大限に活用することができます。これにより、作業効率が向上し、大型機械による培土（畑の土を整える作業）などもスムーズに進められます。

○作業速度の向上

誤差が小さくなることで、機械を正確に制御できるため、スピードを上げても高い精度を維持できます。

○資材コストの削減

高解像度のデータを活用し、肥料や農薬などの投入量を適切にコントロールできます。これにより、コスト削減と環境負荷の低減を両立できます。

○安定した収量の確保

ほ場ごとのデータをもとに、最適な栽培管理が行えるため、収量が安定しやすくなります。



福島県では支援システムが県内全域をカバーできるよう、年内に全11カ所へRTKの基地局の設置を完了する予定です。

会津地域では会津坂下町（農業総合センター会津地域研究所）と猪苗代町（内水面水産試験場）の2カ所に基地局を整備し、令和7年4月から支援システムの運用（ライセンス料が必要）を始め、RTKを活用した農業機械の導入を推進します。また、スマート農業推進セミナー等を開催し、理解促進と活用推進を図ってまいります。

【農業振興普及部】

【ご意見・お問合せ】

福島県会津農林事務所 企画部地域農林企画課

〒965-8501

福島県会津若松市追手町7番5号（会津若松合同庁舎2階）

☎（0242）29-5369 FAX（0242）29-5389

